

(様式2)

## 放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈中・37〉	いわき市立	上遠野	中学校
〈実施日〉	平成 27年 12月 7日 (月)			
〈実践教科等〉	※当てはまる番号に○を付けてください。4は( )に教科等を入れてください。 ① 理科    2 学級活動    3 総合的な学習の時間    4 その他 (                      )			
〈実践内容〉	対象学年：3学年			
本時のねらい：生活している場所の放射性量を知り、放射性から身を守ることを考えることができるようにする。				
1. 放射線について知っていることを発表する。				
2. 班に分かれて、学校の敷地内の放射線量を放射線測定器で測定する。				
				
3. 福島県内の他地区の線量と比較し、敷地内の放射線量に関して気づいたことを発表する。				
4. 自分たちが生活していく中で、身を守るためにできることは何があるかを話し合い、発表する。				
5. ワークシートにまとめる。				
〈成果〉	・実際に外に出て自分たちで測定することで、放射線についての関心が高まり、改めて放射線は身近に存在することを認識できた。 ・外から戻ってきたときは、手洗い・うがいをするなど具体的な内容が挙がり、一人一人自己管理に対する意識を向上することができた。			
〈課題〉	・霧箱などを利用し、視覚的に放射線を捉える内容があれば、より深まったのではないかと考えられる。 ・放射線測定器の数が限られているので、全員が実測することができなかった。 ・他教科との関連を強め、多面的に指導をすると効果が上がると考えられる。			
資料作成担当者職(教諭)氏名	( 村上 貴教 )		学校電話番号 ( 89-2513 )	

### 【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。  
(送信先：[kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp](mailto:kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp))